

トラブルシューティング（スモーター、ジェッター①）

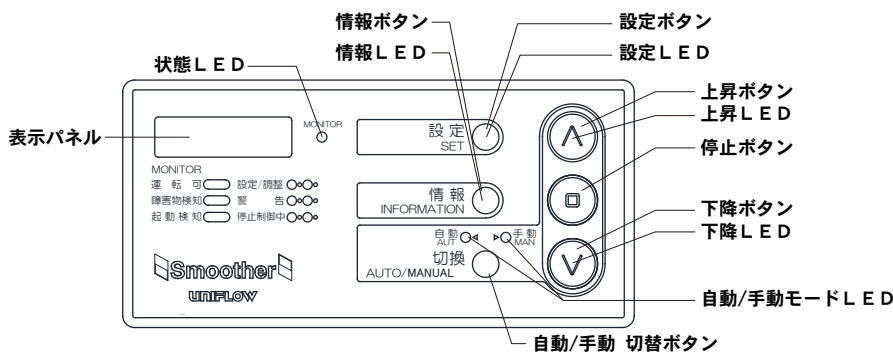
シャッターが開いた状態で閉まらない

スモーター RX-2,RX-3

⇒操作パネルで機器の状態を確認し、対処してください。




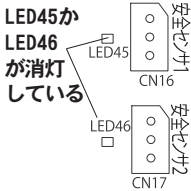
操作パネル説明

<RX-2, RX-3>



症状①【操作パネルの MONITOR ランプが赤く点灯していて「E-04」が表示されている場合】



⇒安全センサの光軸ずれです。センサ（外付け側・内蔵側）の光軸ずれ、取り付けのゆるみやガタツキを確認してください。

表示 制御盤の表示	制御盤内メイン基板表示灯	原因
 MONITOR ● 赤が点灯している ↓ 2分間継続  MONITOR ● 赤が点灯している + 	 LED45か LED46 が消灯 している 両方が点灯していない とシートは動作しません	<p>①-1 基板上的LED45が消灯している場合 →レール外付け安全センサの光軸ずれが原因です。</p> <p>①-2 基板上的LED46が消灯している場合 →レール内蔵安全センサの光軸ずれが原因です。</p> <p>E-04 安全センサ 2分間検知： 安全センサ 1または2が、2分間以上連続で検知すると表示されます。</p> <p>対応方法： ①安全センサの光軸をご調整ください。光軸の調整方法は、次ページを参照ください。 ②安全センサの取付をしっかりと固定してください。（ゆるみがないことをご確認ください） ③安全センサ光軸上の障害物を取り除く等を行ってください。 ④安全センサ本体のレンズ面の汚れを布等で取り除いてください。 ⑤メイン基板のCN16またはCN17コネクタの抜け・ゆるみを確認し、コネクタを差し直してください。 ⑥安全センサ配線の断線が無いをご確認ください。断線の場合は、修理連絡先へご連絡願います。</p> <p>表示解除方法： 原因が取り除かれると自動復帰します。</p>

→センサの光軸調整方法は次ページ

症状②【（自動モードの状態）操作パネルの MONITOR ランプが橙に点灯している場合】

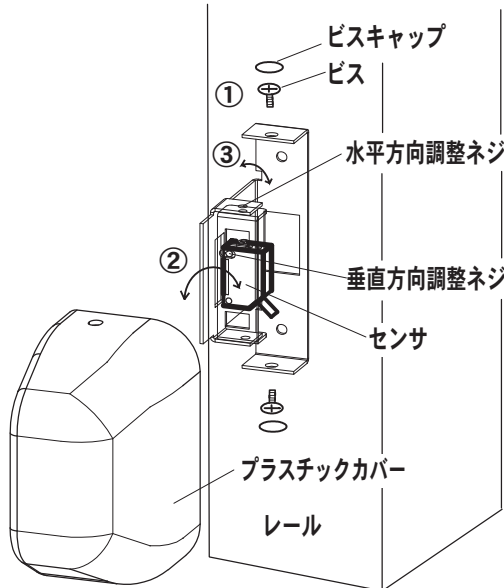
⇒起動センサが障害物又は静止物を検知しています。

表示 制御盤の表示	制御盤内メイン基板表示灯	対処方法
 橙が点灯している	 LED47 が点灯 したまま	<ul style="list-style-type: none"> ・検知エリアの障害物を取り除いてください。 ・床面の反射物（床濡れ、ブルーシート）を除いてください。 ・センサの取付位置や向きの変更または検知エリアや感度の設定をご確認ください。

・安全センサの光軸調整

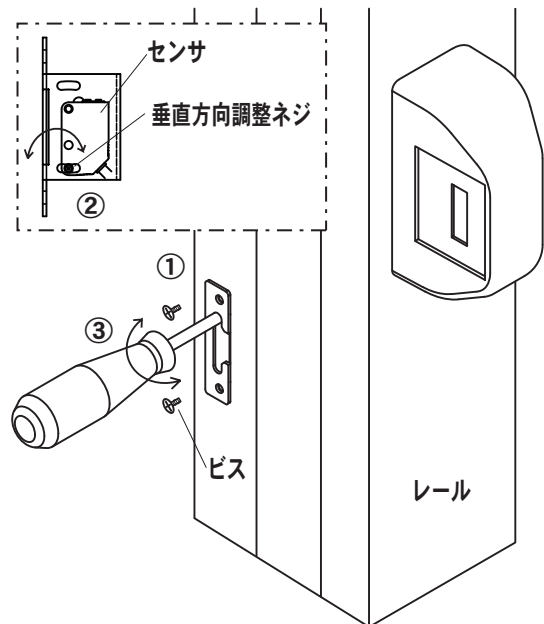
●レール外付け安全センサの調整方法

- ①プラスチックカバー上下のビスキャップとビスを取り外してカバーを外してください。
- ②垂直方向の調整：側面のネジ2本を軽く緩め、センサを動かして調整してください。
- ③水平方向の調整：上部・下部のネジを軽く緩め、センサを動かして調整してください。

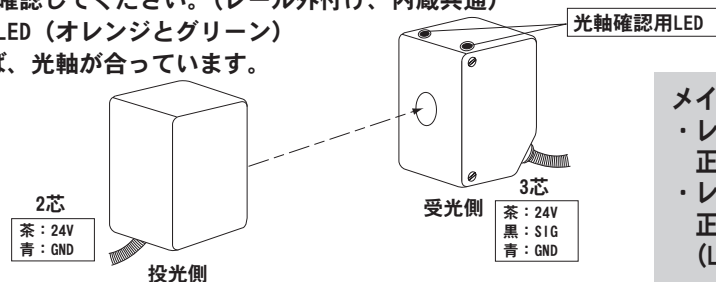


●レール内蔵安全センサの調整方法

- ①ビス2点を外してセンサをレールから取り出してください。
- ②垂直方向の調整：側面のネジ(下)を軽く緩め、センサを動かして調整してください。
- ③水平方向の調整：再度センサをレールに固定してください。ドライバーを差し込んで左右に調整してください。



- ④光軸が合っているか確認してください。（レール外付け、内蔵共通）
受光側センサ上部のLED（オレンジとグリーン）が2つとも点灯すれば、光軸が合っています。



メイン基板上的光軸確認方法
 ・レール外付け安全センサ
 正常時：LED45点灯
 ・レール内蔵安全センサ
 正常時：LED46点灯
 (LED位置はP6参照)

各商品修理に関するお問い合わせ

株式会社 **ユニフロ** エンジニアリング部

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田

受付時間 平日 9:00~18:00 土曜日 9:00~17:00

東日本 ☎ 0120-504-226

西日本 ☎ 0120-590-226

日曜祝日は翌営業日に対応させていただきます。

トラブルシューティング（スムーザー、ジェッター①）

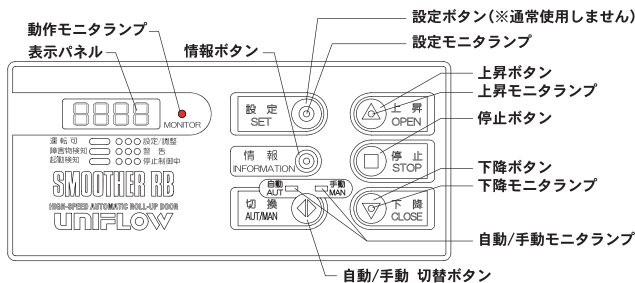
シャッターが開いた状態で閉まらない

（該当機種：スムーザー RB-2s, RB-3s, RB-4Z）

⇒操作パネルで症状と原因を確認し、対処してください。

操作パネル説明

<RB-2s, RB-3s, RB-4Z>



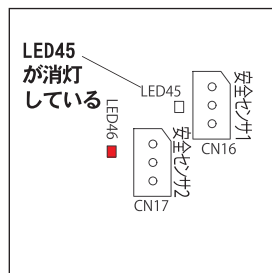
症状①



症状①【操作パネルの MONITOR ランプが赤く点灯していて「E-04」が表示されている場合】

⇒光電管センサの光軸ずれです。

露出側光電管センサの光軸ずれ、または埋込側光電管センサの光軸ずれが原因です。



→①-1

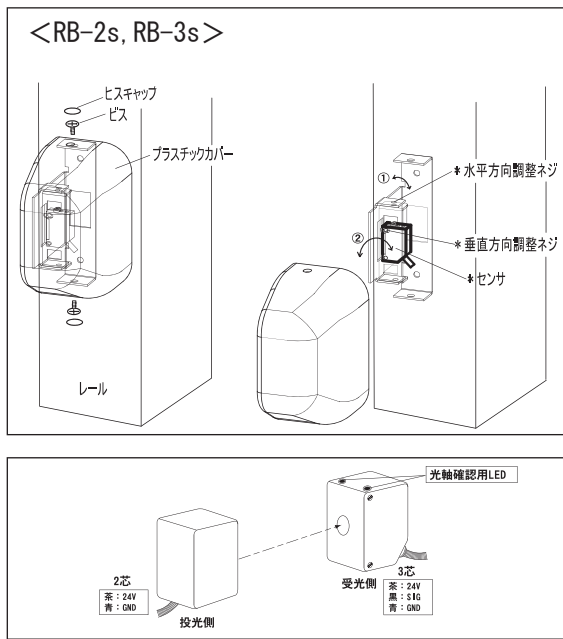
基板上の LED45 が消灯している場合は、露出側光電管センサの光軸ずれが原因です。

露出側光電管センサの光軸調整方法

[RB-2s,3s] プラスチックカバーの上下のビスキャップとビスを取り外してカバーを外し、光軸を調整してください。（メイン基板 CN16[LED45] 正常時点灯）

[RB-4Z] エバータイトネジを外して、ストッパーに当たるまで引き出し、軽く下に押し固定した状態で光軸を調整してください。

（参考図次ページ）



1. 水平方向の調整をする

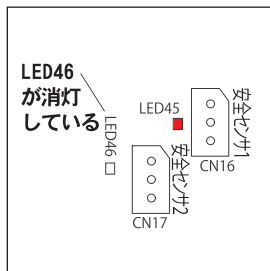
- 上部・下部のネジを軽く緩め、センサを動かして調整してください。

2. 垂直方向の調整をする

- 側面のネジ2本を軽く緩め、センサを動かして調整してください。

3. 光軸が合っているか確認する

- センサ上部のLED（オレンジとグリーン）が2つとも点灯すれば、光軸が合っています。



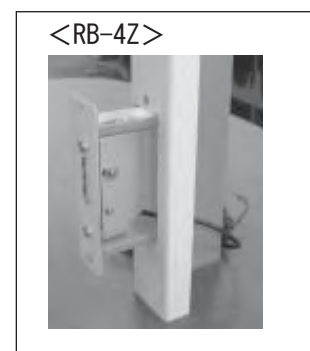
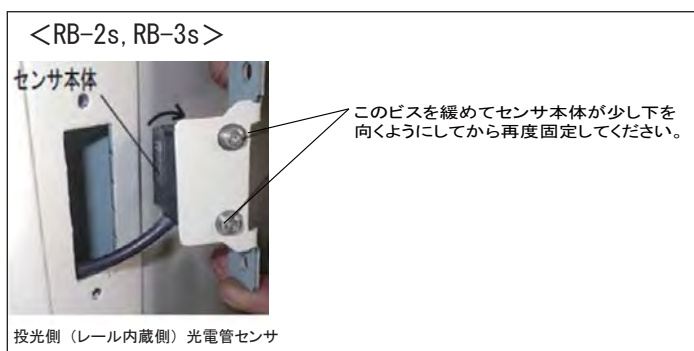
→①-2 基板上的LED46が消灯している場合は、埋込側光電管センサの光軸ずれが原因です。

投光側（レール内蔵側）光電管センサ光軸調整方法

投光側の（レール外付側）光電管レンズ面に養生テープ等を貼ってください。

投光側（レール内蔵側）の光電管センサをレールから取り出し、センサ固定の上下のネジを緩めてセンサ本体が少し下を向くようにして固定してください。（光軸中心を下げる）

一旦レールに固定して、受光側（レール内蔵側）光電管センサの光軸が合っている（LED46のみ点灯）ことを確認してください。



症状②



橙が点灯している

症状②【(自動モードの状態) MONITOR ランプが橙に点灯している場合】

⇒起動センサが検知しています。

対処方法

- ・ 検知エリアの障害物を取り除いてください。
- ・ 床面の反射物（床濡れ、ブルーシート）を除いてください。
- ・ センサの設定が静止物体無限検知でしたら、設定を変更してください。

各商品修理に関するお問い合わせ

株式会社 ヌニフロ エンジニアリング部

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田

受付時間

平日 9:00~18:00

土曜日 9:00~17:00

日曜祝日は翌営業日に対応させていただきます。

東日本 ☎ 0120-504-226

西日本 ☎ 0120-590-226

トラブルシューティング（スムーザー、ジェッター①）

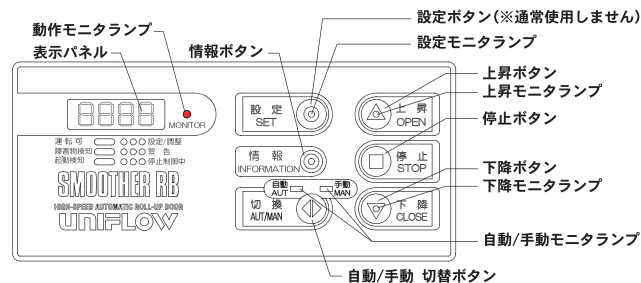
シャッターが開いた状態で閉まらない

（該当機種：スムーザー RB-1, RB-1Ta）

⇒操作パネルで症状と原因を確認し、対処してください。

操作パネル説明

<RB-1Ta>



<RB-1>

RB-1 については
制御盤内のメイン基板の
保護制御表示灯を
確認してください。

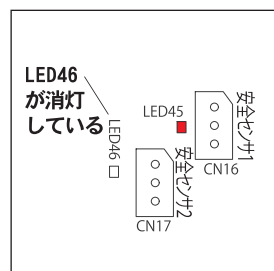
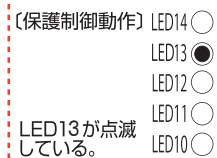
症状①

RB-1Ta



症状①【RB-1Taの操作パネルのMONITORランプが赤く点灯していて「E-04」が表示されている、またはRB-1の制御盤内メイン基板の保護制御表示灯LED13が点滅している場合】
⇒光電管センサの光軸ずれです。

RB-1



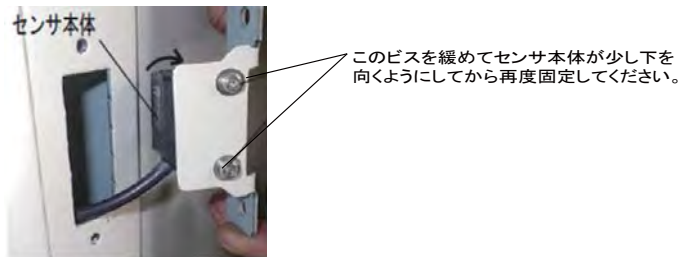
→① 基板上的LED46が消灯している場合は、埋込側光電管センサの光軸ずれが原因です。

投光側（レール内蔵側）光電管センサ光軸調整方法

投光側の（レール外付側）光電管レンズ面に養生テープ等を貼ってください。

投光側（レール内蔵側）の光電管センサをレールから取り出し、センサ固定の上下のネジを緩めてセンサ本体が少し下を向くようにして固定してください。（光軸中心を下げる）

一旦レールに固定して、受光側（レール内蔵側）光電管センサの光軸が合っている（LED46のみ点灯）ことを確認してください。



投光側（レール内蔵側）光電管センサ

光軸が合っているか確認してください。

センサ上部の LED（オレンジとグリーン）が 2 つとも点灯すれば、光軸が合っています。

症状②

RB-1Ta



橙が点灯している

症状②【RB-1Ta の（自動モードの状態）MONITOR ランプが橙に点灯している、

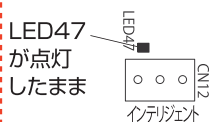
または RB-1 の制御盤内メイン基板表示灯 LED47 が点灯している場合】

⇒起動センサが検知しています。

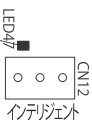
対処方法

- ・ 検知エリアの障害物を取り除いてください。
- ・ 床面の反射物（床濡れ、ブルーシート）を除いてください。
- ・ センサの設定が静止物体無限検知でしたら、設定を変更してください。

RB-1



LED47
が点灯
したまま



各商品修理に関するお問い合わせ

株式会社 **ユニフロ** エンジニアリング部

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田

受付時間

平日 9:00~18:00

土曜日 9:00~17:00

日曜祝日は翌営業日に対応させていただきます。

東日本 ☎ 0120-504-226

西日本 ☎ 0120-590-226

トラブルシューティング（スモーカー、ジェッター①）

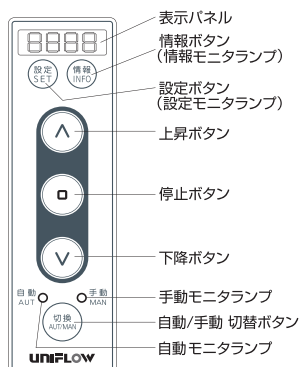
シャッターが開いた状態で閉まらない

（該当機種：ジェッター JT-1, JT-1T, JT-2T）

⇒操作パネルで症状と原因を確認し、対処してください。

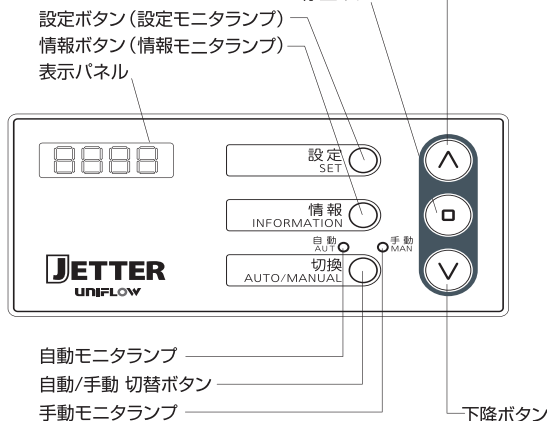
操作パネル説明

<JT-1>

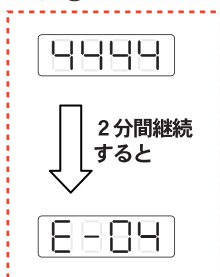


※JT-1/1T/2Tの操作パネルには、動作モニタランプはありません。

<JT-1T, JT-2T>

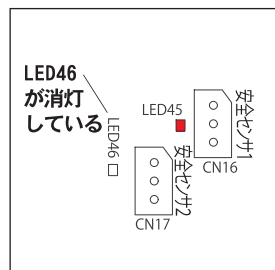


症状①



症状①【表示パネルに「4444」が2分間継続表示後⇒「E-04」が表示される場合】

⇒光電管センサの光軸ずれです。



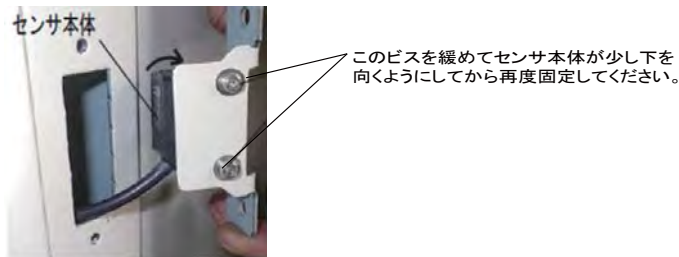
→① 基板上のLED46が消灯している場合は、埋込側光電管センサの光軸ずれが原因です。

投光側（レール内蔵側）光電管センサ光軸調整方法

投光側の（レール外付側）光電管レンズ面に養生テープ等を貼ってください。

投光側（レール内蔵側）の光電管センサをレールから取り出し、センサ固定の上下のネジを緩めてセンサ本体が少し下を向くようにして固定してください。（光軸中心を下げる）

一旦レールに固定して、受光側（レール内蔵側）光電管センサの光軸が合っている（LED46のみ点灯）ことを確認してください。



投光側（レール内蔵側）光電管センサ

光軸が合っているか確認してください。

センサ上部のLED（オレンジとグリーン）が2つとも点灯すれば、光軸が合っています。

症状②



症状②【（自動モードの状態）MONITORランプが橙に点灯している場合】

⇒起動センサが検知しています。

対処方法

- ・ 検知エリアの障害物を取り除いてください。
- ・ 床面の反射物（床濡れ、ブルーシート）を除いてください。
- ・ センサの設定が静止物体無限検知でしたら、設定を変更してください。

各商品修理に関するお問い合わせ

株式会社 ヌニフロ エンジニアリング部

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田

受付時間

平日 9:00~18:00

土曜日 9:00~17:00

日曜祝日は翌営業日に対応させていただきます。

東日本 ☎ 0120-504-226

西日本 ☎ 0120-590-226